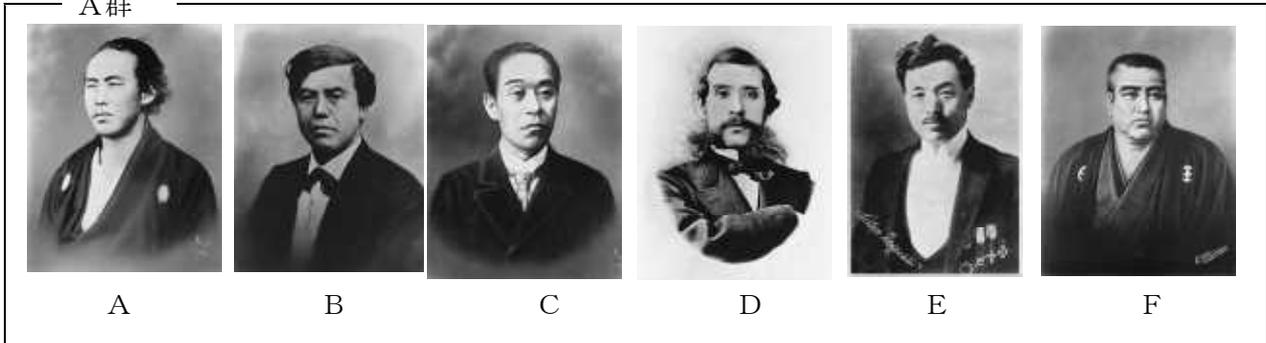


組 番 名前

◎ 解答欄の(1)～(5)の人物にあたる肖像画や写真を A 群のA～F から選び、さらにその人物に関係のある事柄を B 群のア～オから選び、その記号で答えなさい。

A 群



(出典：国立国会図書館ウェブサイト)

B 群

ア 薩摩藩に生まれる。幕府が倒れた後、国内で内戦が続いた際、幕府側代表の勝海舟と話し合う。その結果、江戸城は武力によらず、朝廷側に明けわたされた。

イ 著書「学問のすすめ」の書き出しは「天は人の上に人をつくらず人の下に人をつくらず」で、平等思想を著した文として知られている。

ウ 土佐藩に生まれる。海運や貿易を行う組織（のちの海援隊）をつくる。1866年当時、対立していた薩摩藩と長州藩を説得して薩長同盟を結ばせる。

エ 薩摩藩に生まれる。アと協力して倒幕の中心となり、後に明治政府の指導者となった。

オ 長州藩に生まれる。幕府を倒す中心となり明治政府の中で大きな役割を果たした。五箇条の御誓文を作成したことでも有名。

解答欄

	A 群	B 群
(1) 木戸 孝允		
(2) 大久保利通		
(3) 坂本 龍馬		
(4) 西郷 隆盛		
(5) 福沢 諭吉		

組 番 名前

---

◎ 開国から明治のはじめころの政治や社会の様子について、下の A ～ D の文をもとに問いに答えなさい。

A：明治政府は国家の近代化をはかるため、欧米の技術を取り入れた模範的な（ ① ）工場を各地に設立した。

B：明治政府は（ ② ）という政策により、身分にかかわらず職業や住む場所を自由に選べるようにした。

C：明治政府は学校制度を整え、子どもを（ ③ ）に通わせることを親に義務づけた。

D：明治政府は（ ④ ）を出し、20才以上の男子に3年間軍隊に入ることを義務づけた。

(1) ①～④にあてはまる言葉を答えなさい。

(2) A の文にある代表的な工場を一つ答えなさい。

解答欄

(1)	①		②	
	③		④	
(2)				

◎ 下の略年表を見て以下の問いに答えなさい。

略年表	
1853	( ① )率いるアメリカの4隻の軍艦が、浦賀沖に現れ日本に開国を要求する。
1854	( ② 条約) を結ぶ。
A	
1858	( ③ 条約) を結ぶ。
B	
1867	将軍 ( ④ ) が政権を朝廷に返上する。
C	
1877	西南戦争が起きる

(1) 上の略年表中の空欄①, ④には人名を, ②, ③には条約名を答えなさい。

(2) ②の条約を結んだことにより, 江戸幕府が約210年続けてきた対外政策が終わったことを意味します。この対外政策は何といわれますか, 答えなさい。

(3) ③の条約には日本に不利な(不平等な)点があり, これが次の時代の外交の大きな課題となっ  
ていきます。日本に不利な(不平等な)点を二つ答えなさい。

(4) A~Cのうち「ざんぎり頭をたたいてみれば文明開化の音がする」といわれた時代は略年表中  
のどの時期か記号で答えなさい。

解答欄

(1)	①		②	
	③		④	
(2)				
(3)				
(4)				

組 番 名前

---

◎ 下の略年表や資料を見て、次の問いに答えなさい。

略年表	
1854	アメリカと条約を結び2港を開港・・・①
1858	大老（ あ ）がアメリカと条約を結ぶ。
A	長州藩による外国船砲撃事件
1867	15代将軍が政権を朝廷に返上する・・・②
1877	

- (1) 略年表中の①の開港した2港とはどこか港名を答えなさい。
- (2) 略年表中の（あ）にあてはまる人物名を答えなさい。
- (3) 略年表中のAの時期に起きた下関砲撃事件や生麦事件等は天皇を尊び、外国勢力を撃退する運動を実現させたものです。この運動を何といいますか、答えなさい。
- (4) 略年表中の②のできごとを何といいますか、漢字4字で答えなさい。
- (5) 略年表中の②のできごとを受けて天皇の政治に戻すことを宣言したがこれを何とよぶか、答えなさい。

解答欄

(1)		(2)	
(3)		(4)	
(5)			

組 番 名 前

◎ 下の表は、明治新政府が行った政策・法令・布告とその内容、ねらいについてまとめたものです。下の問いに答えなさい。

(1) ア～オに該当する政策・法令・布告名を答えなさい。

政策・法令・布告	内 容
版籍奉還	大名に土地と人民を政府に返させ、中央集権化をめざす事業
ア	藩を廃止して県を置くという行政改革
イ	えた、ひにんなどの呼び名を廃止し、身分・職業とも平民と同じとする布告
ウ	1872年6歳以上の男女全てが小学校教育を受けることを定めた制度
エ	満20歳に達した男子は士族・平民に関わらず兵役の義務を負うとした法令
オ	課税の基準を収穫高から地価に変更した租税制度改革
カ	群馬県の富岡製糸工場などの官営模範工場をつくったり、博覧会を開いたりして新技術の開発と普及をはかった政策

(2) 上記の政策・法令は欧米の強国に対抗するため、経済を発展させて国力をつけ、軍隊を強くすることを目指しました。このスローガンを何というか。漢字4字で答えなさい。

解答欄

(1)	ア		イ	
	ウ		エ	
	オ		カ	
(2)				

組 番 名 前

◎ 明治初期の日本の外交を示した表をもとに、問いに答えなさい。

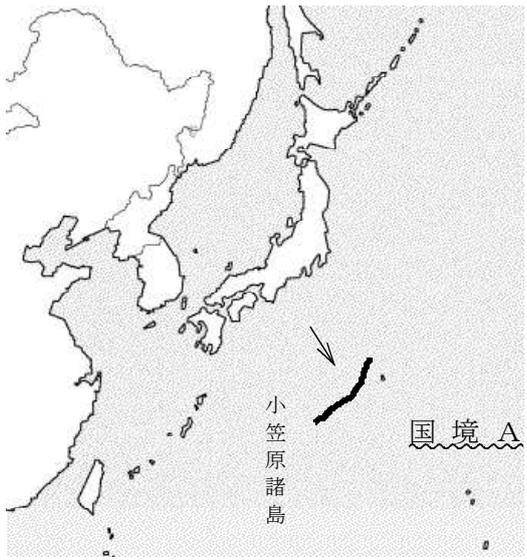
(1) 表中の①は日本が外国に対して初めて対等な立場で結んだ条約です。その条約名を答えなさい。

(2) 表中の⑤は明治政府が軍艦を派遣し、朝鮮に圧力を加えたことで起きた事件でした。この事件の名称とこの事件を起こす背景となった考えを何というか答えなさい。

1871	清と条約を結ぶ・・・・・・・・・・	①
1872	琉球藩を置く・・・・・・・・・・	②
1874	台湾出兵・・・・・・・・・・	③
1875	樺太・千島交換条約・・・・・・・・	④
	朝鮮と武力衝突・・・・・・・・・・	⑤
1876	日朝修好条規・・・・・・・・・・	⑥
	小笠原諸島の領有を各国に通告・・	⑦
1879	沖縄県を置く・・・・・・・・・・	⑧

(3) 上の表をもとに1879年当時の日本の国境を小笠原諸島付近の国境Aを参考に下の地図に書き入れなさい。

解答欄

(1)		
(2)	事件名	
(3)	考 え	
		

日本発大規模白地図サイト  
【世界地図 | SEKAICHIZU】





< 基本問題① >

【解答】(1)

	A 群	B 群
(1)木戸 孝允	( B )	( オ )
(2)大久保利通	( D )	( エ )
(3)坂本 龍馬	( A )	( ウ )
(4)西郷 隆盛	( F )	( ア )
(5)福沢 諭吉	( C )	( イ )

- 【解説】○ 幕末から明治にかけて活躍した人物です。どの人物も幕末歴史小説に多く登場します。一度、読んでみるとそれぞれの人物像や人間関係がわかり、より歴史が理解できるでしょう。
- 写真Eの人物は野口英世です。明治から大正にかけて活躍した世界的細菌学者です。アフリカで「黄熱病」の研究中に自ら感染し、命を落としました。

<基本問題②>

【解答】	(1)	① 官 営	② 四 民 平 等
		③ 小 学 校	④ 徴 兵 令
	(2)	富岡製糸（工）場	

【解説】○ 江戸時代には武力が武士の特権であったが、明治政府は四民平等を実行し、「国民皆兵（すべての国民を兵士にする）」としました。また、学制により教育を受けた人々は労働者や兵士として優れた力を発揮しました。更に、このころ西洋文明を積極的に取り入れ、日本も欧米並みの文化を持つ国であることを世界に誇示し、条約改正を有利に進めようとしてしました。そのため、当時盛んに行われた鹿鳴館の舞踏会は有名です。

○ 官営工場は、明治政府が殖産興業の政策のため、創設した工場です。富岡製糸場が有名ですが、その他に以下のような工場があります。

広島紡績所 新町紡績所 愛知紡績所 札幌麦酒醸造所 長崎造船所 兵庫造船所  
千住製絨所 深川セメント製造所

三池炭鉱 高島炭鉱 佐渡銀山 生野銀山 院内銀山 阿仁銅山

○ 誤字に注意。四民平等は市民平等ではありません。また富岡製糸場は富岡製紙場ではありません。

【採点基準】

番号	採 点 の 基 準
(1) ①	・官営模範（工場）も正解とする。
③	・学校も正解とする。
(2)	・富岡製糸（工）場以外の官営工場でも正解とする。

<基本問題③>

【解答】	(1)	①	ペリー	②	日米和親
		③	日米修好通商	④	徳川慶喜
	(2)	鎖国			
	(3)	領事裁判権（治外法権）を認める			関税自主権がない
	(4)	C			

【解説】 ○ 「泰平の眠りをさます蒸気船（上喜撰）たった4杯で夜も眠れず」

上喜撰（じょうきせん）は高価な宇治茶であり4杯も飲むと夜眠れなくなることと、ペリーが蒸気船である黒船他計4船で来航したのを掛けた有名な狂歌です。鎖国政策により諸外国との関わりがなかった世の中（泰平の世）に現れた「黒船」に幕府はもちろん江戸庶民もとても驚いた様子がわかります。

- ペリーが来航した浦賀沖は東京湾の入り口、房総半島と三浦半島の間、浦賀水道にあたります。歴史の学習でも地名が出てきたら、地図帳で位置を確認することが大切です。
- 日米修好通商条約の不平等な点を理解することが、明治時代の日本の外交を理解する上でも重要です。この時、「領事裁判権」（「治外法権」）や「関税自主権」というキーワードだけを単純に覚えるだけでは、「領事裁判権がない」や「関税自主権がある」という間違いをしまいかねません。領事裁判権とはどういうものか、関税自主権とはどういうものかを理解し、「領事裁判権がある」とどのような問題があるのか、「関税自主権がない」とどのような不利な点があるのかを押さえておくことが大切です。
- 鎖国から開国そして大政奉還までの出来事を整理しておきましょう。大政奉還は江戸幕府の終わりと同時に鎌倉時代から続いた武家政権の終わりであることも押さえておくことが大切です。

<応用問題①>

【解答】	(1)	函 館 ； 下 田	(2)	井 伊 直 弼
	(3)	尊 王 攘 夷 運 動	(4)	大 ； 政 ； 奉 ； 還
	(5)	王 政 復 古 の 大 号 令		

【解説】○ 日米和親条約では、下田（静岡県）と函館（北海道）の2港を開くとともに、同様の条約をイギリス、オランダ、ロシアと結びました。日米修好通商条約は、大老の井伊直弼が対派の意見をおさえ、朝廷の許可なく結び、函館・神奈川（横浜）・長崎・新潟・兵庫（神戸）の5港を開きました。また、幕府はオランダ・ロシア・イギリス・フランスともほぼ同様の通商条約を結びました。

それぞれの条約後に開港した港は、地図帳でも確認しておきましょう。

○ 開国により国内の政治・経済は大きく変化しました。尊王攘夷（そののうじょうい）とは、天皇を尊び外圧・外敵を撃退しなければならないとする思想です。この運動の高まりにより、開国に踏み切った大老の井伊直弼は桜田門外の変で暗殺されました。（1860年）しかし、長州藩はその後下関戦争により、「攘夷よりも強力な統一国家の建設が先決」であることを痛感し、同じく軍備を強化していた薩摩藩とともに倒幕へと進みました。

【採点基準】

番号	採 点 の 基 準
(1)	・ 順不同

<応用問題②>

【解答】		ア	廃 藩 置 県	イ	解 放 令
	(1)	イ	学 制	エ	徴 兵 令
		オ	地 租 改 正	カ	殖 産 興 業
	(2)		富 ； 国 ； 強 ； 兵		

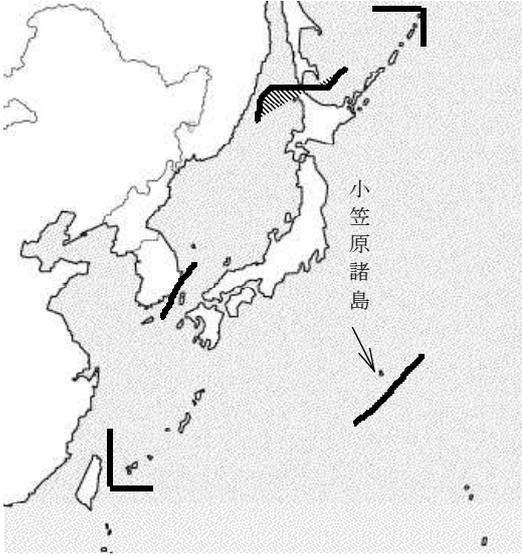
【解説】○ 明治政府は、富国強兵を推し進める為に様々な政策を講じました。それぞれの内容とねらいをまとめておきましょう。江戸幕府の統治体制を改める為に明治政府は「版籍奉還」「廃藩置県」を行い、「解放令」を布告するとともに、国民による国力を高める為に「学制」「徴兵制」を敷きました。官営模範工場は我が国における産業革命を起し、後に民間に払い下げられることで資本主義化が進みました。また、「富国強兵」による国づくりは産業の育成とともに財政の確保が必要であり、「地租改正」による税制の抜本的改正が行われました。

【採点基準】

番号	採 点 の 基 準
(1) イ	・ 身分解放令も正解とする。

<応用問題③>

【解答】

(1)	日 清 修 好 条 規		
(2)	事件名	江 華 島 事 件	考 え      征 韓 論
(3)			

- 【解説】
- 年表は明治初期の外交と国境の画定を表しています。政府は、清国と日清修好条規を結んだ後、強い姿勢で清国と朝鮮に対します。当時、朝鮮は中国には貢ぎ物を送り、国王の位を認めてもらう関係でしたが、欧米に対しては鎖国し、明治政府との国交も拒んでいました。そこで、武力による開国をせまる主張が征韓論です。一度は派兵を中止しましたが、江華島事件をきっかけに武力衝突し、日朝修好条規（日本に有利な不平等条約）を結びました。
  - 樺太・千島交換条約はロシアと結んだ条約です。日本が樺太全土をロシアに譲り、その代わりに千島列島を日本の領土にするというものです。
  - 現東端の「南鳥島」は1898年に東京府小笠原支庁に編入されました。また、南端の「沖ノ鳥島」は1920年に国際連盟により日本の委託統治領として認められました。

<応用問題④>

- 【解答】(1) **安価な綿製品**の大量輸入により、国内の生産地が打撃を受けた。また、貿易商人の買いしめにより**生糸の品不足**になった。更に、米の買いしめ等もあり、日用品の**物価**までが上昇して人々の生活は苦しくなった。(105字)
- (2) 武士は、外国に対する反感を強め、外国人を武力を使っても排斥しようとする**攘夷**を主張する声が高まってきた。(51字)

【解説】○ 外国からよい品物が大量に輸入されると、国内の同じ製品は売れなくなり、国内におけるその産業は打撃を受けます。また、国内で消費されるべき品物が輸出に回り、国内に回らなくなるとその製品の値段が高騰します。これは、今も昔も同じ経済の原理です。通商条約により、開国当時の日本経済も大きな影響を受けました。このような中で、外国に対する反感を強め、「攘夷」を主張する武士が増えてきました。

【採点基準】

番号	採点の基準
(1)	(文字数) <ul style="list-style-type: none"><li>・ 90字以上で、配点通りに与える。</li><li>・ 80字～89字で、配点の8割程度与える。</li><li>・ 80字未満は、配点の5割程度与える。</li></ul> (内容) <ul style="list-style-type: none"><li>・ すべてのキーワードが使われていないものは、不正解とする。</li></ul>
(2)	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 50字以上60字以内で、配点通りに与える。</li><li>・ 40字～49字で、配点の8割程度与える。</li><li>・ 40字未満は、配点の5割程度与える。</li></ul> (内容) <ul style="list-style-type: none"><li>・ すべてのキーワードが使われていないものは、不正解とする。</li></ul>

<応用問題⑤>

【解答】 日本が欧米列強の**植民地**になることを防ぐため、早く産業を発展させ国力をつけ、軍隊を強くする必要があると考えた。そこで、**富国強兵**のスローガンのもと、欧米列強に負けない国づくりをしようとした。(93字)

【解説】○ いち早く近代工業を発展させたイギリスは、軍事力を背景に清国やインドを植民地として支配しました。同じく、フランス・スペイン・オランダ・アメリカもアジア進出をめざし、また、ロシアも南下政策により清国に迫っていました。この情勢をみた大久保利通らは、これに対抗するため、産業を発展させて国力をつけ、軍隊を強くすることをめざしたのです。

【採点基準】

採 点 の 基 準
(文字数) ・ 90字以上で、配点通りに与える。 ・ 80字～89字で、配点の8割程度与える。 ・ 80字未満は、配点の5割程度与える。 (内容) ・ すべてのキーワードが使われていないものは、不正解とする。